

第 35 回新型コロナウイルス感染症対策本部会議議事録

1 開催日時 令和 3 年 7 月 27 日（火） 午後 4 時 00 分～午後 4 時 27 分

2 開催場所 浦安市役所 災害対策本部室

3 出席者

本部長：市長

副本部長：両副市長

本部員：危機管理監、消防長、教育長、総務部長、企画部長、財務部長、
市民経済部長、福祉部長、健康こども部長、環境部長、都市政策部長、都市整備部長代理、
教育総務部長、生涯学習部長、会計管理者、議会事務局長、選挙管理委員会事務局長
(事務局)

健康こども部、総務部

4 議題

(1) 状況報告（感染者の状況）

(2) その他

- ・ワクチン接種状況について
- ・職域接種状況について

5 議題の概要

(1) 市内感染者の状況報告を行った。

(2) 緊急事態宣言発出時の対応について審議を行った。

(3) ワクチン接種通知はがきを中止することに決定した。

(4) 20 歳から 49 歳のワクチン接種時期について審議を行った。

(5) その他

- ・職員のワクチン接種について情報を共有した。
- ・ワクチンパスポート申請人数の報告を行った。
- ・4 連休中の対応について報告を行った。
- ・感染者増加による保健所業務の逼迫に伴う、協力要請について情報を共有した。

6 会議経過

(1) 状況報告

本部員：今週の状況であるが、ステージ 4 のままであり、10 万人当たりの 1 週間の感染者数は、市が 51.8 人、市川市 52.8 人、船橋市 57.1 人、都が 78.1 人となっている。

感染者の動向であるが、過去に一番感染者が多かった、1月と7月を比較すると、感染者に占める年代別の割合で、7月は20代の感染者の割合が高くなっている。

本部長：高齢者へのワクチン接種を進めたことで、この年代の感染は低く抑えられている。一方でデルタ株の特徴として子どもの感染者が増えている。引き続き警戒を怠ることがないようにすること。また、感染者の情報は共有すること。

本部員：学校外の活動で感染することもある。学校外で感染したとき、情報が入手できないこともあり得るので、情報の共有は大事なことである。

本部長：市内公共施設や民間施設で感染者が発生した場合は、各所管と情報を共有すること。

(2) その他

・ワクチンの接種状況について

本部員：市全体として、1回目接種32.9%、2回目接種が18.8%であり、65歳以上では、1回目接種89.2%、2回目接種は78.6%となっている。特に高齢者の接種は県内でも進んでいるほうである。

本部長：職員の接種についてどのようになっているのか。

本部員：職員の接種は、7月25日までに、477人が接種を終えている。接種が進んでいるので、改めて職員に接種意向調査を行う。

本部長：選挙管理委員会の状況について説明を求める。

本部員：立会人、選管の委員の方々は、ほぼ接種を終えている。未接種の7人の方に接種していただくことになっている。また、職員については、事務主任58人中、希望する18人に1回目の接種を終えている。

本部長：接種については、本人の自由であるが、感染を拡げないということから接種を希望する職員には、休暇が取得できる様にし、確実に接種できる体制を作ること。

・職域の接種状況について

本部員：国から8月下旬にモデルナワクチンを供給すると発表されている。ワクチンは供給順位が決められていて、各職域には順番にワクチンが供給される。

本部長：市民の皆さんが1日でも早くワクチン接種できるようにしなければならない。そのためワクチン接種は、前倒しで行っていくこととする。

・今後のワクチン接種について

本部員：8月1日発行の広報で、40歳から49歳の接種予約を8月2日から、30歳から39歳の予約を3日から、20歳から29歳の予約を4日から予約受付を開始する。接種時期は、9月上旬から中旬に実施予定である。16歳から19歳と12歳から15歳は状況を見ながら対応していくことを考えている。

以前、接種時期は「はがき」によってお知らせすることを広報で案内していたが、はがきの印刷、発送など作業実務上タイミングよくお知らせすることが、大変困難であることから、お知らせ方法を変更する。

具体的には、市ホームページ、ツイッター、其他媒体を活用しながらお知らせしたいと考えている。

本部長：本市では、ワクチン接種がスムーズに進んでいることから、20歳から49歳へのワクチン接種は前倒しで行うこと。そのため接種予約は8月上旬から実施すること。また、接種のお知らせをはがきで行う予定であったが、はがきでの接種通知を中止することを広報でお知らせすること。各所管が管理する施設に、はがき送付中止のお知らせを掲出しPRに努めること。

本部長：ワクチン接種時期のお知らせには、デジタルサイネージやバスの車内広告、自治会掲示板の活用など、あらゆる媒体を通じて周知には万全を期すこと。

また、受験を控えている子ども達もいることから、接種時期に配慮が必要である。

・ワクチンパスポートについて

本部員：ワクチンパスポートは昨日から受付を開始したが、29人の受付をした。

本部長：4連休の対応について説明を求める。

本部員：4連休中の状況であるが、クリーンセンター前の道路では、警備員配置前に駐車していた車両はあったが、配置後には駐車されることは無かった。また、その他の公園でも駐車は無かった。一方で運動公園は各競技施設を有していることから、駐車場の閉鎖はしていないが、公園利用者も少なく、他県ナンバーの車両も見受けられてないと報告を受けている。

本部長：4連休の対応で保健所から何か要請は来ていないか。

本部員：保健所には、4連休に県の本庁から応援が入っていると報告を受けている。

・今後の対応について

本部長：感染者の急増で保健所業務も厳しいところであるから、何らかの対応が必要である。保健所の協力要請には柔軟に対応すること。

本部長：県内の感染者が急増しており、大変厳しい状況にある。今後、緊急事態宣言が発出される可能性が高い。公共施設での感染対策であるが、特に熱中症対策を含めた対応が必要である。

また、近隣自治体の状況を見定めながら対応を図ること。

7 決定事項

- ・子どもの感染者が増加傾向にあることから、夏休み期間中の感染状況の把握及び各部署間の迅速な情報共有に努めること。
- ・市内の感染者が急増していることから、今後、緊急事態宣言の発出の可能性も踏まえ、公共施設の閉鎖や制限等について、柔軟に対応できる体制を検討すること。なお、検討にあたっては、人流に影響を及ぼすことのないよう、近隣自治体の状況を踏まえること。
- ・20歳から49歳のワクチン接種については、当初の予定を前倒し、8月上旬から予約を開始することとし、広報うらやすやホームページを始め、デジタルサイネージやバス車内広告など、あらゆる媒体を通じて周知を図ること。
- ・今後、保健所のひっ迫が懸念されることから、感染状況を踏まえながら、保健所からの

協力要請には柔軟に対応すること。